道 徳

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	道徳 002-72 002-82 002-92	A B 622	令和6年
17	教育出版	教 出◆	道徳 017-72 017-82 017-92	B 5 611	
38	光村図書出版	光 村◆	道徳 038-72 038-82 038-92	B 5 変型 589	
116	日本文教出版	日 文◆	道徳 116-73 116-74 116-83 116-84 116-93 116-94	B 5 684	
224	Gakken	学 研◆	道徳 224-72 224-82 224-92	A B 582	
232	あかつき教育図書	あか図◆	道徳 232-73 232-83 232-93	B 5 582	
233	日本教科書	日 科◆	道徳 233-72 233-82 233-92	A B 501	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

校 種	聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校	
生徒の実態	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。	
観点			
内容の 取扱い等	1 障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について	①身近な題材について、体験を通して考えるなど、学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。	①学校生活などでイメージしやすい身近な教材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。
	2 障害への配慮を要する内容等について	①言葉や音を聞き取る活動が含まれ、学習活動に困難が想定されるもの。 ②インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの。 ③方言や特徴的な言い回し等を多用し、読解の際に説明が必要であるもの。	①視機能の障害や上肢の操作性等から学習活動に困難が想定されるもの。 ②病気の治療などによる運動制限から、経験しにくい体験的活動を扱った教材が取り上げられているもの。 ③集団で行う活動など、生徒数が少ないため取扱いに工夫が必要であるもの。
構成上の工夫	①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①見えにくさが伴うことがあるため、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明されているもの。	

	教科書発行者	東書	教出
内容	「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材数	23	43
	主として人との関わりに関すること	23	23
	主として集団や社会との関わりに関すること	47	39
	「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材数	24	22
	情報モラルや現代的な課題を扱っている教材の数	28	68
	人物の生き方や考え方等から学ぶ主な教材に取り上げられている人物の数	24	39
	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について ①身近な題材について、体験を通して考えるなど、学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。	30箇所 ①1年「震災の中で」では、ボランティアをする人や支援を受ける人の役割を演じてそれぞれの気持ちを考える活動を取り上げている。(P138) ②該当なし	21箇所 ①3年「歩きスマホをどうするか」では、タブレット端末の使い方について考える題材を取り上げている。(P72-74) ②2年「あなたの声、心に届け」では、聴覚障害者の妹についての作文を題材として取り上げている。(P22-24)
聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動が含まれ、学習活動に困難が想定されるもの。 ②インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの。 ③方言や特徴的な言い回し等を多用し、読解の際に説明が必要であるもの。	38箇所 ①3年「二通の手紙」では、閉園を知らせるアナウンスや別れの曲が園内に流れる場面があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P15) ②1年「SNSに友達の悪口を書く」とでは、友人と電話で会話する場面があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P42) ③2年「宝塚方面行きー西宮北口駅」では、方言での会話が多数あり、読解の際に説明が必要である。(P148-150)	27箇所 ①2年「地下鉄で」では、バスの車内アナウンスに拍手が起こる場面があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P132) ②1年「不自然な独り言」では、バスターミナルで高齢者に自分から声をかける場面を演じる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P91) ③2年「夜の果物屋」では、ハミングを擬音語で表現した場面があり、読解の際に説明が必要である。(P85)	
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	11ポイント	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	44文字×24行	43文字×19行
	欄外の文字の大きさ	7.5ポイント	7.0ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①2年「『できない』には価値があるー吉藤オリィ」では、ロボットを活用したコミュニケーションの仕組みを、イラストと図で視覚的に説明している。(P9)	①3年「昇き縄」では、博多祇園山笠の祭りの様子を、イラストで視覚的に説明している。(P51)
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	性差と家族についての扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり

中学部 道徳(聴覚障害特別支援学校)

教科書発行者		光村	日文
内容	「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材数	21	21
	主として人との関わりに関すること	43	21
	主として集団や社会との関わりに関すること	38	43
	「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材数	22	23
	情報モラルや現代的な課題を扱っている教材の数	63	37
	人物の生き方や考え方等から学ぶ主な教材に取り上げられている人物の数	39	40
	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について ①身近な題材について、体験を通して考えるなど、学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。	24箇所 ①1年「白いスニーカー」では、学校の決まりについて考える題材を取り上げている。(P109-111) ②2年「異なり記念日」では、聴覚障害のある家族の関わりを題材として取り上げている。(P153-157)	20箇所 ①3年「電車の中で」では、電車内で席を譲る体験を演じて考える活動を取り上げている(P112) ②2年「マークはなんのために？」では、耳マークの役割を考える活動を取り上げている。(P136-137)
聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動が含まれ、学習活動に困難が想定されるもの。 ②インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの。 ③方言や特徴的な言い回し等を多用し、読解の際に説明が必要であるもの。	16箇所 ①2年「カラカラカラ」では、電車の中で空き缶が音をたてて転がる場面があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P13) ②3年「手品師」では、電話での会話のみで進行する箇所があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P176) ③1年「むこう岸には」では、擬音語での表現があり、読解の際に説明が必要である。(P127-132)	23箇所 ①1年「その声は」では、電車内で乗客の会話を耳にする場面があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P128) ②3年「違うんだよ、健司」では、複数の登場人物の会話が続く場面があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P28-31) ③1年「門掃き」では、方言による会話があり、読解の際に説明が必要である。(P62-65)	
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	10ポイント	10ポイント
	1ページの基本的な文字数	45文字×20行	48文字×21行
	欄外の文字の大きさ	7.5ポイント	7.0ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①2年「段ボールベッドへの思い」では、会話の話をイラストで示し、やりとりが視覚的に説明している。(P66-69)	①2年「他人の靴を履いてみる」では、登場人物の心情や状況を、漫画形式で視覚的に説明している。(P64-67)
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	性差と家族についての扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり

中学部 道徳(聴覚障害特別支援学校)

	教科書発行者	学研	あか図
内容	「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材数	24	24
	主として人との関わりに関すること	21	21
	主として集団や社会との関わりに関すること	38	36
	「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材数	22	24
	情報モラルや現代的な課題を扱っている教材の数	38	33
	人物の生き方や考え方等から学ぶ主な教材に取り上げられている人物の数	50	27
内容	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について ①身近な題材について、体験を通して考えるなど、学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。	21箇所 ①2年「つい言い過ぎて」では、ネット・SNSの活用の仕方について考える題材を取り上げている。(P108-110) ②3年「五井先生と太郎」では、健聴者の少年と、聴覚障害者である両親との葛藤を取り上げている。(P161-163)	19箇所 ①1年「あなたの生活習慣は？」では、自身の生活習慣について考える活動を取り上げている。(P49) ②2年「共に生きるために、共に考える」では、耳マークや筆談ボードを取り上げている。(P159)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動が含まれ、学習活動に困難が想定されるもの。 ②インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの。 ③方言や特徴的な言い回し等を多用し、読解の際に説明が必要であるもの。	27箇所 ①2年「キャッチボール」では、聞こえないふりをする場面や、「怒った声」と表現する箇所があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P69) ②1年「捨て犬・未来」では、会話文のみで展開する場面があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P173) ③3年「忘れられないご馳走」では、方言による会話があり、読解の際に説明が必要である。(P108-111)	25箇所 ①3年「リクエスト」では、ラジオ局の番組に曲をリクエストする内容を取り上げており、取り扱う際に配慮が必要である。(P92-97) ②1年「銀色のシャープペンシル」では、友達と電話で会話をする場面があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P96) ③3年「卒業文集最後の二行」では、方言による会話があり、読解の際に説明が必要である。(P32-37)
	本文の文字の大きさ	10.5ポイント	10.5ポイント
構成上の工夫	1ページの基本的な文字数	48文字×24行	45文字×21行
	欄外の文字の大きさ	7.5ポイント	7.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①1年「宇宙で過ごすために 野口聡一」では、本文に関連する1日のスケジュールを、円グラフで視覚的に説明している。(P58)	①3年「ベビーカー論争」では、本文に関連する調査結果を、カラーの帯グラフで視覚的に説明している。(P66)
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	性差と家族についての扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり

教科書発行者		日科
内容	「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材数	24
	主として人との関わりに関すること	20
	主として集団や社会との関わりに関すること	42
	「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材数	16
	情報モラルや現代的な課題を扱っている教材の数	17
	人物の生き方や考え方等から学ぶ主な教材に取り上げられている人物の数	32
	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について ①身近な題材について、体験を通して考えるなど、学習活動が工夫できるもの。 ②聴覚障害の理解に関わる記述があるもの。	16箇所 ①3年「そっと生きる？」では、学級での係決めを通して、自分自身と向き合うことを考える題材を取り上げている。(P24) ②該当なし
聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動が含まれ、学習活動に困難が想定されるもの。 ②インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの。 ③方言や特徴的な言い回し等を多用し、読解の際に説明が必要であるもの。	25箇所 ①1年「中央市場は働いている」では、魚のせりの場面があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P96) ②2年「壁の向こうに何がある」では、複数の登場人物の会話が続く場面があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P8-11) ③3年「嵐の後に」では、方言による会話があり、読解の際に説明が必要である。(P61-65)	
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	44文字×21行
	欄外の文字の大きさ	7.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①1年「席を譲ってはいけませんか」では、主題を考える導入で、登場人物の心情や状況を4コマ漫画の形式で視覚的に説明している。(P65)
参考	国旗・国歌の扱い	あり
	防災や自然災害の扱い	あり
	性差と家族についての扱い	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり

教科書発行者		東書	教出
内容	「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材数	23	43
	主として人との関わりに関すること	23	23
	主として集団や社会との関わりに関すること	47	39
	「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材数	24	22
	情報モラルや現代的な課題を扱っている教材の数	28	68
	人物の生き方や考え方等から学ぶ主な教材に取り上げられている人物の数	24	39
	肢体不自由・病弱のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について ①学校生活などでイメージしやすい身近な教材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	35箇所 ①1年「風評被害」では、クラスメイトとの関わり方をテーマに、他人を認めることを考える内容を取り上げている。(P29-33) ②3年「みんなでいっしょに『ゆるスポーツ』」では、車いす使用者と健常者が共にスポーツを楽しむ写真を掲載している。(P154)	28箇所 ①2年「本当の友達って」では、SNSを通じた友達との関わりから、友人との関係について考える内容を取り上げている。(P52-57) ②1年「ショートパンツ初体験inアメリカ」では、パラリンピック選手の義足への考え方を取り上げている。(P92-95)
肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①視機能の障害や上肢の操作性等から学習活動に困難が想定されるもの。 ②病気の治療などによる運動制限から、経験しにくい体験的活動を扱った教材が取り上げられているもの。 ③集団で行う活動など、生徒数が少ないため取り扱いに工夫が必要であるもの。	71箇所 ①2年『一冊のノート』の場面をやってみようでは、「草取りをするおばあちゃん」の役があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P41) ②1年「山に来る資格がない」では、学校行事での山登りがテーマであり、取り扱う際に配慮が必要である。(P34-37) ③2年「探究の対話『p4c』」では、学級の生徒が輪になり、対話をする活動がある。(P92)	68箇所 ①3年『『よりよく生きる』って、どういことだろう?』では、学習の振り返りを文章と図や絵で表現する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P188-189) ②2年「心を鍛える」では、陸上大会出場時の心情を話題にしており、取り扱う際に配慮が必要である。(P102-105) ③1年「ソーシャルメディアのルールとマナー」では、SNS等を利用する際のルールやマナーをグループで話し合う活動がある。(P69)	
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	11ポイント	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	44文字×24行	43文字×19行
	欄外の文字の大きさ	7.5ポイント	7.0ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①見えにくさが伴うことがあるため、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明されているもの。	①単元のまとめに「考えよう」「見つめよう」として、学習のポイントを背景色を着けて示している。(1年P11など) ②2年「みんなでとんだ!」では、集団で大縄跳びを跳んでいる様子を写真で示している。(P91)	①単元の冒頭に、学習テーマに関する問いを、枠囲みとマークを付けて簡潔な文で示している。(1年P8など) ③3年「昇き縄」では、博多祇園山笠の山笠の祭りの様子を、イラストで視覚的に説明している。(P51)
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	性差と家族についての扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり

教科書発行者		光村	日文
内容	「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材数	21	21
	主として人との関わりに関すること	43	21
	主として集団や社会との関わりに関すること	38	43
	「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材数	22	23
	情報モラルや現代的な課題を扱っている教材の数	63	37
	人物の生き方や考え方等から学ぶ主な教材に取り上げられている人物の数	39	40
内容	肢体不自由・病弱のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について ①学校生活などでイメージしやすい身近な教材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	31箇所 ①1年「養生訓」では、夜更かして寝坊した生徒の漫画を通して、自分の生活を見直す活動を取り上げている。(P23-27) ②2年「遠く離れた人に会いたい」では、外出が困難な人がロボットを通して接客する場面を取り上げている。(P144)	36箇所 ①2年「制服は誰のもの」では、新しい制服を考える生徒たちの姿を題材として取り上げている。(P120-123) ②2年「マークはなんのために？」では、ヘルプマークなど、配慮が必要な人のためのマークについて取り上げている。(P136-139)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①視機能の障害や上肢の操作性等から学習活動に困難が想定されるもの。 ②病気の治療などによる運動制限から、経験しにくい体験的活動を扱った教材が取り上げられているもの。 ③集団で行う活動など、生徒数が少ないため取り扱いに工夫が必要であるもの。	54箇所 ①1年「命の木」では、本文と本文の内容を示す写真が別のページにあり、写真で確かめながら本文を読む際には配慮が必要である。(P157-158) ②2年「僕の仕事場は富士山です」では、登山ガイドの立場から自然を守る内容を取り上げており、取り扱う際に配慮が必要である。(P74-79) ③3年「自分を受け入れるために」では、自尊心をテーマにグループで話し合う活動がある。(P35)	40箇所 ①2年「他人の靴を履いてみる」では、チャート図に言葉を書き込む活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P69) ②1年「村人B」には「……」は、バレーボール部の活動がテーマのため、取り扱う際に配慮が必要である。(P16-21) ③3年「電車の中で」では、電車で席を譲る場面を演じたり、友達の演技を見たりして話し合う活動がある。(P112-113)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	10ポイント	10ポイント
	1ページの基本的な文字数	45文字×20行	48文字×21行
	欄外の文字の大きさ	7.5ポイント	7.0ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①見えにくさが伴うことがあるため、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明されているもの。	①単元のまとめに学習のテーマと、考えるための具体的なポイントを背景色を着けて示している。(1年P14など) ②3年「サグラダ・ファミリア」では、建築物の彫刻部分を拡大した写真を示している。(P78)	①単元のまとめに、自分の行動や生活に活かすポイントを考える問いを、背景色付きの枠囲みで示している。(1年P11など) ②2年「おばあちゃんのくれた“おまじない”」では、病院での洗髪の様子をイラストで示している。(P15)
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	性差と家族についての扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり

	教科書発行者	学研	あか図
内容	「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材数	24	24
	主として人との関わりに関すること	21	21
	主として集団や社会との関わりに関すること	38	36
	「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材数	22	24
	情報モラルや現代的な課題を扱っている教材の数	38	33
	人物の生き方や考え方から学ぶ主な教材に取り上げられている人物の数	50	27
内容	肢体不自由・病弱のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について ①学校生活などでイメージしやすい身近な教材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	32箇所 ①2年「つい言い過ぎて」では、学校の友人とのSNSでのやりとりについて考える活動を取り上げている。(P108-109) ②3年「スポーツの力」では、骨肉腫を患ったパラリンピック選手がスポーツに向き合う姿を取り上げている。(P166-170)	33箇所 ①3年「挨拶のちから」では、挨拶目標を話し合う場面を通して、礼儀について考える内容を取り上げている。(P24-25) ②1年「ある日のバターボックス」では、小児麻痺で歩行が困難な児童の学校生活の様子を取り上げている。(P28-31)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①視機能の障害や上肢の操作性等から学習活動に困難が想定されるもの。 ②病気の治療などによる運動制限から、経験しにくい体験的活動を扱った教材が取り上げられているもの。 ③集団で行う活動など、生徒数が少ないため取り扱いに工夫が必要であるもの。	70箇所 ①2年「蹴り続けたボール」では、怒りの強さによる自分の態度の変化を、温度計の目盛りに見立てた野線に記入する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P53) ②2年「キャッチボール」は、野球部の活動がテーマのため、取り扱う際に配慮が必要である。(P68-70) ③1年「イチローの軌跡」では、グループで話し合い考えを交流する活動がある。(P145)	34箇所 ①1年「あなたの生活習慣は？」では、幅が狭い野線のチェックシートに記入する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P49) ②2年「マイ・フェイバリット・ロード」では、自転車で通学する場面があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P16-19) ③2年「意見の対立について話し合ってみよう」では、自分とは異なる意見をもつ人に直面したときの接し方について考える活動がある。(P94-95)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	10.5ポイント	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	48文字×24行	45文字×21行
	欄外の文字の大きさ	7.5ポイント	7.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①見えにくさが伴うことがあるため、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明されているもの。	①単元のまとめに「考えよう」として、学習を深めるポイントを背景色を着けて示している。(1年P16など) ②3年「境界線を越える」では、設備の用途を知らせるピクトグラムを示している。(P92)	①単元のまとめに、考えを深める学習のポイントを枠囲みで示している。(1年P13など) ②3年「ベビーカー論争」では、電車の中にあるベビーカーマークを写真で示している。(P69)
参考	国旗・国歌の扱い	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり
	性差と家族についての扱い	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり

教科書発行者		日科
内容	「主として自分自身に関すること」を扱っている主な教材数	24
	主として人との関わりに関すること	20
	主として集団や社会との関わりに関すること	42
	「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を扱っている主な教材数	16
	情報モラルや現代的な課題を扱っている教材の数	17
	人物の生き方や考え方等から学ぶ主な教材に取り上げられている人物の数	32
	肢体不自由・病弱のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる教材等について ①学校生活などでイメージしやすい身近な教材を取り上げているもの。 ②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述があるもの。	23箇所 ①2年「言葉の向こうに」では、ファンサイトへの書き込みで言い争いになった様子を題材として取り上げている。(P60-64) ②1年「オレは最強だ！」では、脊髄腫瘍を患った車いすテニス選手の活躍を取り上げている。(P22-27)
肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①視機能の障害や上肢の操作性等から学習活動に困難が想定されるもの。 ②病気の治療などによる運動制限から、経験にくい体験的活動を扱った教材が取り上げられているもの。 ③集団で行う活動など、生徒数が少ないため取り扱いに工夫が必要であるもの。	35箇所 ①2年「『用具係』、動くか」では、イラストにある吹き出しに発言を記入する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P109) ②2年「劔岳に魅せられて」では、山岳警備隊の活動がテーマのため、取り扱う際に配慮が必要である。(P92-95) ③3年「『ウェルビーイングカード』を使ってみよう」では、カードから考えたことを班の友達と話し合う活動がある。(P6)	
構成上の工夫	本文の文字の大きさ	10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数	44文字×21行
	欄外の文字の大きさ	7.5ポイント
	ふりがな	未習得及び難読漢字
	障害の状態に応じた事項、その他 ①見えにくさが伴うことがあるため、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明されているもの。	①単元のまとめに、考えるポイントや学習を深める問いが色の着いた丸い囲みで記されている。(1年P11など) ②3年「茶道の心に学ぶ」では、茶道の作法について、文章と写真で説明している。(P59)
参考	国旗・国歌の扱い	あり
	防災や自然災害の扱い	あり
	性差と家族についての扱い	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり